

10月下旬

キャベツが結球し始めました!

結球時期の防除の重要性について指導を行いました。順調に育っています。1か月後の出荷まであと少し!!



11月30日

出荷!



ついに出荷の日を迎えました!
出荷第1弾は293kgのキャベツと43kgのネギを学校給食センターへ納品しました。
いよいよ翌日の学校給食に提供されます!



12月1日

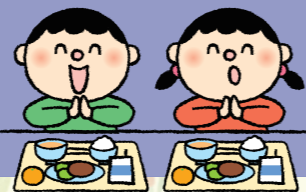
学校給食へ提供



尾張旭市産のキャベツ、ネギ、小松菜、イチジクの農産物が多数使用されました。
また、当日は学校給食センターに協力いただき、上記野菜を出荷した生産者ら7名が、実際の献立と同じ給食を試食させていただきました。
尾張旭産直友の会松原八壽雄会長は「今回のプロジェクトには、若い農業者をはじめとする新規の参加者も加わってくれたので、産直友の会の生産技術アップにもつながったと思う。学校給食センターへの出荷が販路の確立・拡大への大切な第一歩になっている」と話してくれました。

尾張旭の生産者が出荷した食材

- キャベツの和え物(キャベツ)
- 豚汁(ネギ)
- 小松菜コロッケ(小松菜)
- JAあいち尾東のお米
- いちじくゼリー(いちじく)



取り組みを開始した令和2年度は、キャベツをはじめとする農産物を多数量学校給食で使用していただくことができました。令和3年度は「学校給食の規格に沿った野菜づくり」を目標に、生産者が自信をもって生産・出荷できる体制を強化していきます。

“尾張旭学校給食出荷強化プロジェクト”は今後も職員・生産者一丸となって取り組んでいきます!

特集

販路の確立・拡大を目指して!!



もっと組合員のために
自己改革
実践中!
JAあいち尾東

尾張旭学校給食 出荷強化プロジェクト始動!!

北部営農センターと尾張旭産直友の会は販路の拡大を目的に尾張旭市学校給食センターへの出荷強化プロジェクトを立ち上げました!
生産者をグループ化し、長期的に安定した出荷ができるよう作付け計画を策定しました。
今回はプロジェクトの発足から出荷まで、半年間にわたる取り組みをキャベツを中心にレポートします!

7月10日

プロジェクト始動!



学校給食への出荷を希望する尾張旭地域の産直友の会会員を対象に説明会を開催、出荷に向けて足並みが揃うよう意思統一を図りました。

学校給食センターの管理栄養士をお招きし、地産地消の取り組み等お話をいただきました



9月中旬

生産者とともに圃場確認

生育状況、病害虫発生など営農担当者がポイントごとに確認。
農薬の提案や害虫の発生しやすい要素など、生産者の圃場ごとにお伝えしました。



8月下旬から
9月初旬

定植開始!

キャベツを担当する生産者4名に、128穴トレー30枚(約3,800本)を配付しました。
今回は12月から3月までの長期的な安定出荷を目指すため、品種と定植時期をずらして定植しました。

